

舞台美術と演劇のワークショップ

セノグラフィー（舞台美術）から 地域と演劇を考える ～大谷編～

概要

大谷石の産地として有名な大谷にある、国登録有形文化財の旧大谷公会堂と周囲の環境を知り、パフォーマンスアートによる有効利用の可能性を探るための実験的なシリーズワークショップです。

複数のワークショップを行います。1回目、2回目だけの参加も可能です。

地域を体で感じながら歩き、写真を撮ったりスケッチをするリサーチワークショップから入り、そこで採集してきた物事を軸に、旧公会堂やイシキリテラスなどサイトスペシフィックな場所で演劇・パフォーマンス作品を立ち上げるまでを一連のシリーズワークショップで行います。

演劇・舞台美術・ダンス・パフォーマンス・コミュニケーションアート・街歩き・ランドスケープ・建築・まちづくりに興味のある方を広く募集しています。

ワークショップを通して一緒に地域の魅力を再確認していきます。

ワークショップ内容

【第1回】 10月12日（土）、13日（日） 両日とも10時～18時

ワークショップナビゲーター 杉山至+袴田長武

大谷の魅力発見～空間のスケッチ～原風景のワークショップ～疑似劇団をつくってみる！

※12日（土）18時～20時に交流会を予定しています。参加は任意です。

対象 宇都宮市内に在住、在学、通勤または市内演劇団体に所属する人

定員 30名

参加費 3000円（高校生2000円） ※2日間通し

備考 動きやすい服装・靴で、スケッチブック、カメラ(スマホ等でも可)持参のこと

集合場所 城山地区市民センター（大谷町1059-5）

【第2回】 2020年1月11日（土）、12日（日）両日とも10時～18時

ワークショップナビゲーター 杉山至+袴田長武

パフォーマンスユニットによる創作ワークショップ

スライドレクチャー『道の芸能・広場の芸術』

※11日（土）18時～20時に交流会を予定しています。参加は任意です。

対象 宇都宮市内に在住、在学、通勤または市内演劇団体に所属する人

定員 30名

参加費 3000円（高校生2000円） ※2日間通し

第1回からの継続の方は2000円

備考 動きやすい服装・靴で、スケッチブック、カメラ(スマホ等でも可)持参のこと
実際に舞台装置的なものを一部作ってみる可能性もあるので、工具を持っている人は持参してください。

集合場所 城山地区市民センター（大谷町1059-5）

【創作発表】 2020年2月15日（土）、16日（日）

2月15日（土）公開ゲネ公演及び公演後にパフォーマンストークを予定

2月16日（日）レクチャーと公演後のアフタートークを予定

お申し込みとお問合せ
宇都宮市演劇連絡協議会
uengekikyo@gmail.com
080-3545-6808（片岡）

協力・後援： 宇都宮市

内容詳細

【第1回】10月12日（土）、13日（日）

10月12日（土）

■1日目

集合9:30～10:00

受付にて参加費をお支払いください。

① 10:00～11:00

エクササイズワークショップ

「Sharp in the Dark」「サウンドマップを作ってみる」「中心を探す」 など

② 11:00～16:00

「大谷の魅力発見！さんぽ」

大谷のまちを歩いて、地域の素敵な風景や面白い出来事や物、素材など、なんでも目についたもの、気になるものをパフォーミングアートの視点で採集します。風景だけでなく人が作り出す気配や音を作り出すサウンドスケープなどもスケッチしてみたりします、五感を研ぎ澄ませながらまちを探索していきます。

（12:00～13:00お昼休憩）※各自持参してください。

③ 16:00～18:00

「大谷の魅力をグループで発表」

採集したまちの魅力をグループに分かれて発表します。風景や出来事、素材や出会った人々など。様々な事象を短いパフォーマンスとして発表してみます。

※1日目終了後、18:00～20:00まで、城山地区市民センターにて交流会。（参加費別途）

10月13日（日）

■2日目

集合9:30～10:00

④ 10:00～12:00

「空間のスケッチ」

最終発表の場となる旧大谷公会堂の空間を知るために空間のスケッチワークショップを行います。気になる空間をキーワードに参加者に自由にスケッチを描いてもらい、様々な視点からの旧大谷公会堂の魅力を発見してみます。

（12:00～13:00お昼休憩）※各自持参してください

⑤ 13:00～17:00

「原風景のワークショップ」

原風景というキーワードで環境や時空間と人の営みを考えます。自分の記憶となっている原風景のスケッチと短い言葉を参考に作ってもらい、グループに分かれて短いパフォーマンスをつくります。

■その際、前日に採集した出来事や素材なども活用してみます。

⑥ 17:00～18:00

「疑似劇団（パフォーマンスユニット）を作ってみる

今回のワークショップと2月の最終発表に向けて、参加者でグループを作り疑似劇団をつくってみます。

戯曲を書く人、空間を構想する人、演じる人、踊る人、演奏する人、パフォーマーとして出る人など、グループで個性あるパフォーマンス集団を作って、自分たちなりのオリジナル作品を構想していきます。できれば次のワークショップまでの間、グループで集まれる人は集まりグループワークを進めていきます。

お申し込みとお問合せ
宇都宮市演劇連絡協議会
uengekikyo@gmail.com
080-3545-6808（片岡）

講 師

杉山 至 Itaru Sugiyama



国際基督教大学卒。

在学中より劇団青年団(平田オリザ主宰)に参加。

2001年度文化庁芸術家在外研修員としてイタリアにて研修。

近年は演劇では青年団、地点、サンプル、風琴工房、城山羊の会、東京タンバリン、てがみ座、ダンスではダンスシアターLUDENS、平山素子、MOKK、白井 剛、森川弘和、またミュージカル・テニスの王子様、オペラでは日生オペラ『フィガロの結婚』『ドン・ジョバンニ』、ドイツ・ハンブルク劇場主催『海、静かな海』の舞台美術を手掛ける。舞台美術ワークショップも多数開催している。

また、近年は劇場等のリノベーションも手がけている。

劇団地点『るつぼ』にてカイロ国際演劇祭ベストセノグラフィアワード2006受賞。

第21回読売演劇大賞・最優秀スタッフ賞受賞(2014年)。

桜美林大学、四国学院大学、女子美術大学 非常勤講師、舞台美術研究工房・六尺堂ディレクター、NPO法人S.A.I.理事、二級建築士。

袴田長武 Osamu Hakamata

舞台美術家。

NPO法人 舞台美術研究所 S.A.I. 理事

秋田県出身

1999年、秋田大学卒業後、舞台美術家となるべく、上京。

2008年度 文化庁国内研修制度 研修員。

2012年度 文化庁新進芸術家海外研修制度にてオランダ アムステルダムにおいてピーター・デ・キンペ氏のもとで1年間研修。

主に東京小劇場を中心として活動。



お申し込みとお問合せ
宇都宮市演劇連絡協議会
uengekikyo@gmail.com
080-3545-6808 (片岡)